



広島文教大学
学長 森下 要治

「改革」の先に 目を凝らして

男女共学化して大学名称を改め、教育学部を新設して二学部体制に移行―昨年度は、学生・教職員が丸となった大きな改革を成し遂げた年でした。また、学部新設に伴って、新棟の建設や建物・中庭の大規模な改修・整備を実施し、キャンパスは面目を一新しました。「令和」の時代のスタートに、大学も新たな一歩を踏み出したのです。

では、次に何が必要なのか。それは、この社会になくってはならない大学として成長することだと、私は思量しています。

吉見俊哉氏は、その著書『大学とは何か』(岩波新書)のあとがきに、

「大学とは、メディアである」と端的かつ意味深長な定義を記しています。「教育」「福祉」「心理」「栄養」「言語コミュニケーション」。これら本学の教育資源や大学を構成する人すべてが交流し合い、触れ合える教育・研究の場「メディアとしての大学」は、少子高齢化が叫ばれて久しい今日の日本社会を活性化する力となるはずです。

なお、本学は昨年度、公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、高等教育機関としての教育水準を十分に満たしていることの証である「適合」との評価を得たことを、併せてご報告します。



学校法人 武田学園
理事長 武田 義輝

学園の新たな 取り組み

春の暖かな風が吹く中、今年も学園に新しく新入生を迎える時期となりました。みなさん、ご入学おめでとうございます。これから新しく始まる生活に胸を膨らませていることと思います。

本学は昨年から男女共学へと移行し、大学名も変更しました。その他にも新学部の設置、新校舎の建設と幾つもの改革を実施しました。

また現在、フィリピン・セブ島に姉妹校の開学を計画中で、すでに校舎の建設が始まっています。インターネットとLCCの普及によって、世界はますます小さくなっています。みなさんのこれからの長い人生の中で、英語を話せること、異文化を受け入れる力を身に付けることは大きな財産となると確信しています。

ます。一人でも多くの学生に留学を経験してもらい、日本では経験できない様々なことを学んでもらいたいと願っています。

ご承知のとおり、日本では少子化が急速に進み、教育界では生き残りをかけた熾烈な競争が繰り広げられる時代に突入しつつあります。しかしながら、そのような中にある本学では教育の本質を見失うことなく、真に価値のある教育を実践し、社会に必要とされる大学であり続けたいと考えています。

これからの4年間はみなさんにとってかけがえのない時間です。学生時代にしかできないことに沢山チャレンジして、本学で充実した4年間を過ごしてください。

HIROSHIMA BUNKYO NEWS

広島文教通信

vol.85
新入生に向けて



志す、こころ輝く。
広島文教大学

— 発行所 —

広島文教大学

〒731-0295
広島市安佐北区可部東1-2-1
Tel:082-814-3191(代表)
Fax:082-815-6801

CONTENTS

- 1 理事長挨拶
武田 義輝
- 1 学長挨拶
森下 要治
- 1 ラブラブセブ国際大学について
- 2 クラブ・サークル・ボランティア活動紹介
- 3 学生のための助成金
“文教チャレンジ”
- 4 学生表彰者報告
- 4 学園財務報告
- 4 学園へご寄附のお願い
- 4 大学ランキング紹介
- 4 文教の“今”を発信中

フィリピン・セブ島に 「ラプラプセブ国際大学」を開学

本学園が中心となりフィリピンの現地法人等と共同し、セブ州にあるマクタン島に「ラプラプセブ国際大学(Lapulapu-Cebu International College)」を開学します。2021年8月の開校を目指しており、2019年12月に起工式を行いました。

フィリピン人学生に向けて社会福祉学部(1学年定員300人)、外国語学部(同50人)、観光マネジメント学部(同50人)の3学部を設けます。特に社会福祉学部では、1年次より4年間日本語を学修し、日本の文化やマナーも学びます。卒業後に日本での就労を希望する学生には、広島県を中心として介護施設での就労を斡旋する予定です。

文教生をはじめとする留学生500人の受入れが可能な環境も整えます。東南アジア全域から留学生を募集し、英語を学修するとともに多様な文化に触れる機会を提供します。生活はシェアハウス型(10人分の個室で1ユニット)の寮を設置します。1ユニットには様々な国籍の学生が在室し、国境を越えた学生同士が共同生活することで親密な関係の構築が可能です。文教生の留学費用は授業料・寮費・食費込みで月額60,000円台、他大学の学生の留学費用は授業料・寮費・食費込みで月額198,000円を予定しています。いずれも欧米留学より安価な留学先を提供します。短期留学生の受入れ開始は2021年3月頃または2022年2月頃を予定しています。今後のお知らせを楽しみにお待ちください。

※大学の開設にはフィリピン政府の認可が必要となるため上記の日程は変更になる場合があります。



学生表彰者報告 令和元年度卒業生18名が表彰されました。

■学術活動において特に顕著な業績を挙げたと認められる者

◎初等教育学科	谷口 奈央
◎人間福祉学科	池田 真結子
◎心理学科	松村 祐花
◎人間栄養学科	平田 和
◎グローバルコミュニケーション学科	後藤 彩音

■課外活動の振興に対する功績があったと認められる者

サッカー部	和太鼓部
◎初等教育学科 有馬 穂乃花	◎初等教育学科 植松 伶奈
◎初等教育学科 梶原 麻理恵	◎初等教育学科 小松 真実
◎人間栄養学科 佐藤 瑞貴	◎初等教育学科 吉川 綾華
◎人間栄養学科 杉原 萌香	◎人間福祉学科 本多 千秋
◎人間栄養学科 智葉 生夏映	◎心理学科 中岡 瞳

■社会活動において、特に顕著な功績を残し、社会的に高い評価を受けたと認められる者

動物愛護ボランティア団体「Animal Happy Project」代表としての活動 ◎心理学科 小林 瑞季

◎人間栄養学科 川崎 紫央

◎人間栄養学科 森山 梨花

平成30年度 財務報告(学園全体)

貸借対照表(平成31年3月31日) (単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,647,153,649	8,284,532,859	1,362,620,790
有形固定資産	9,354,890,694	7,998,561,314	1,356,329,380
土地	2,886,312,172	2,886,312,172	0
建物	4,705,570,072	3,463,259,181	1,242,310,891
その他の有形固定資産	1,763,008,450	1,648,989,961	114,018,489
その他の固定資産	292,262,955	285,971,545	6,291,410
流動資産	2,668,706,835	2,921,986,991	△ 253,280,156
現預金	2,208,693,977	2,857,397,361	△ 648,703,384
その他の流動資産	460,012,858	64,589,630	395,423,228
資産の部合計	12,315,860,484	11,206,519,850	1,109,340,634

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,512,383,183	572,736,239	939,646,944
長期借入金	1,139,785,000	185,805,000	953,980,000
その他の固定負債	372,598,183	386,931,239	△ 14,333,056
流動負債	556,387,615	572,536,407	△ 16,148,792
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
その他の流動負債	546,367,615	562,516,407	△ 16,148,792
負債の部合計	2,068,770,798	1,145,272,646	923,498,152

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	16,467,376,475	16,240,178,592	227,197,883
第1号基本金	16,240,876,475	16,014,178,592	226,697,883
第3号基本金	56,500,000	56,000,000	500,000
第4号基本金	170,000,000	170,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,220,286,789	△ 6,178,931,388	△ 41,355,401
翌年度繰越収支差額	△ 6,220,286,789	△ 6,178,931,388	△ 41,355,401
純資産の部合計	10,247,089,686	10,061,247,204	185,842,482
負債の部及び純資産の部合計	12,315,860,484	11,206,519,850	1,109,340,634

(注記)
1.減価償却額の累計額の合計額 8,193,374,463円
2.徴収不能引当金の合計額 1,675,720円
3.翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 791,036,310円

「ご寄附のお願い」

各学校の教育・研究活動の充実、学園生への修学支援および施設設備の改善充実等を図る目的で、「武田学園教育振興寄附金」を募集いたします。経済情勢の厳しい折ではございますが、本募集活動の趣旨にご理解とご賛同をいただきまして、寄附金募集に何卒温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

寄附金額(個人、法人) 一口 一万円(何口でもご寄附いただけます。)

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/region/donation/>



大学ランキング

『大学探しランキングブック2020』(大学通信)において、
『全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学ランキング』で
中国・四国地区の大学にて上位にランクインしました。

「小規模だが評価できる大学」

中国・四国地区私立大学

第1位

(全国私立大学 第28位)

「教育力が高い大学」

中国・四国地区私立大学

第2位

(全国私立大学 第29位)

「面倒見が良い大学」

中国・四国地区私立大学

第2位

(全国私立大学 第24位)

「改革力が高い大学」

中国・四国地区私立大学

第2位

「入学後、生徒を 伸ばしてくれる大学」

中国・四国地区私立大学

第2位

文教の”今”を発信中

国道183号線沿い
「安佐市民病院前」交差点に
デジタルサイネージを
設置しました!



広島文教大学 ホームページ

広島文教大学

検索

広島文教大学が運営するWEBマガジン
「cocorozasu」(ココロザス)



学生のための助成金 “文教チャレンジ”

本学では、学生生活支援委員会と学友会執行部が中心となり、「文教チャレンジ」の募集をしています。「文教チャレンジ」とは、学生が有意義な学生生活を送ることができるよう、学生が主体となって企画・運営する様々な行事や活動に対し、大学が最大10万円の助成金を支給するというものです。本学学生の団体ならば誰でも応募することが可能です。

このたび令和元年度の「文教チャレンジ」に採択され、助成金を使ってイベントを行った2団体の活動内容をご紹介します。新入生のみなさんも挑戦してみてはいかがでしょうか？

これまで文教チャレンジの助成金交付を受けた団体

平成28年度：女子サッカー部、フォークソング部、和太鼓部
平成29年度：安芸太田サークル雪だるま、Active、はぐくみ、スマこね、ハートフル広島、学友会体育局、和太鼓部、書道部・書道研究会
平成30年度：栄養教諭の会、書道部・書道研究会、スマこね、和太鼓部
令和元年度：書道部、ハートフル広島、和太鼓部、ダンス部ZERO、バドミントン部、☆Bunkyo World Challenge☆

書道部



大学祭にて

コンクール出展&書道パフォーマンスに挑戦!

初等教育学科3年 小野 奏美さん

2019年5月から、コンクールや書道パフォーマンスのために文教チャレンジの助成金を活用しました。作品制作では古典の臨書を中心に創作を行っており、第24回全日本高校・大学書道展、第15回ふくやま書道美術館臨書展、第40回ふれあい書道展などの書道コンクールに応募し入賞するなど、個々の書の技術を高めることができました。

また、書道パフォーマンスではオリジナルの構成内容で、様々な書体や書風を駆使し、豊かな表現となるよう取り組んでいます。オープンキャンパスでは、サンボマスターの「できっこないをやらなくちゃ」に合わせ、「受験最後まで頑張れ!」という気持ちを込めました。大学祭ステージでは、ゆずの「虹」に合わせ、「未来永劫」をテーマに制作しました。パフォーマンスでは、全員で一つの作品を作り上げる書道の楽しさや面白さ、感動を届けることができました。特に、広島グリーンアリーナでの第58回OSEALライオンズ・フォーラムのオープニングアトラクションでは、約3か月前から打ち合わせを行い、歌手やタップダンス、和太鼓と本学書道部とのコラボパフォーマンスを行いました。約1万人の観客を前に「輝」「夢」「愛」「繋」「PEACE」「平和を学び、祈る」を書きました。平和に対する祈りをどのように全身でダイナミックに表現するかを考えパフォーマンスを企画することは難しかったですが、披露した後の観客の拍手や声援を受け、相互の一体感を感じることができました。



OSEALライオンズ・フォーラム(本学HPに動画掲載)

ハートフル広島



全員での集合写真

国際交流イベントを開催!日本で暮らす外国人の参加者と異文化交流

グローバルコミュニケーション学科4年 矢田部 徳華さん

2019年6月から国際交流イベントを2回、映画鑑賞会を3回実施しました。学内の英語学修専用施設BECCで高めた英語コミュニケーション力を、学外で活用する機会を多く持ちたいと考えました。また、日本語教育や日本文化の伝承に興味を持っている学生が多く、どちらも実現できる国際交流イベントを実施することになりました。イベントにはタイ、フィリピン、アメリカなど多国籍の方が参加し、参加者が国籍、言語、年齢、信教、性別関係なく楽しめるアクティビティ、日本にまつわるクイズ、日本文化体験などを通して交流しました。これはコミュニケーションとは何かを改めて考えるきっかけにもなりました。言語は互いを理解するのに大変役に立ちますが、もっと大切なのは相手を理解しようとする気持ちと行動だということが実感できるイベントでした。映画鑑賞では、貧困や差別などの国際社会問題を取り扱ったドキュメンタリー映画を上映し、視聴後に意見交換を行い問題についての理解を深めました。

イベントの実施にあたり、施設確保などの準備や参加者募集のための広報活動など、普段の生活から一歩踏み出して挑戦しました。たくさんの準備事項について一つずつ段階を踏んで物事を進めていく必要があり、計画性や行動力が身についたと思います。ハートフル広島はとても若いサークルです。だからこそ、常に新しいことに自分たちで挑戦し、計画・実行・反省しながら成長しています。



異文化交流会にて

クラブ・サークル・ボランティア活動紹介

本学学生全員で組織する自治団体「学友会」のもと、文化系・体育系のクラブ・サークルが活動しています。2019年4月に男女共学になり、男子学生を中心として新たに発足したサークルもあります。

学友会

本部

学生生活を充実させるための、いわば「緑の下」の力持ちです。快適な学生生活を送るための環境作りを自分たちで行う役割を担っています。

体育系

体育系クラブ・サークルを統括しています。体育活動の普及・向上を図る活動として、スポーツDAYやうんどう会などの企画・運営をします。

文化系

文化系クラブ・サークルを統括しています。文化的な活動を通して学生生活の充実を図るため、6月の文教文化展や、大学祭での文化展の企画・運営をします。

大学祭実行委員会

大学祭の企画・運営をしています。ステージ企画や展示、模擬店などをとりまとめ、大学祭を学生自らの手で盛り上げて楽しみます。



ソフトテニス同好会



サッカー同好会



吹奏楽部



ダンス部 ZERO



茶道同好会

文化系クラブ・サークル

陶芸部、吹奏楽部、書道部、和太鼓部、フォークソング部、ダンス部ZERO、AIC研究同好会、紙ひこうき同好会、写真同好会、ハートフル広島、茶道同好会、ジャグリング同好会「Iris」、競技かるた同好会*、合唱サークル*
*2019年発足



競技かるた同好会



和太鼓部

体育系クラブ・サークル

弓道部、硬式テニス部、陸上競技部、卓球部、ソフトボール部、バドミントン部、バスケットボール同好会、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、女子サッカー部、バレーボール同好会*、サッカー同好会*、野球サークル*、フィギュアスケート同好会*、ソフトテニス同好会*
*2019年発足



卓球部



バドミントン部

2020年3月現在 ※クラブ・サークル名順不同

ボランティア活動

ボランティア団体(これまでの活動)

■スマイルこねくと(スマこね)

- ・活動場所：安芸郡府中町
- ・活動内容：府中町社会福祉協議会と連携をとりながら、地域の笑顔とつながりを広げることを目的に、ミニ運動会、料理、昔遊びなど、高齢者や親子、学生など様々な世代間の交流を深めるイベントの企画と運営をしています。

■NPプログラム保育グループ

- ・活動場所：広島文教大学内
- ・活動内容：大学内で行われるNP「ノーバディズ・パーフェクトプログラム：完璧な親なんていない」は子育て中の母親を支援するプログラム。約2か月間、週1回のプログラムに参加する母親の0～5歳の子どもの託児を行いました。

■ビブリオバトル運営スタッフ(学生への社会人基礎力プロジェクト活動)

- ・活動場所：広島文教大学内
- ・活動内容：「ビブリオバトル」のバトラーや聴衆募集活動、当日の会場設営・司会進行など運営を行いました。本学でチャンプ本に選ばれたバトラーは「全国大学ビブリオバトル2019～首都決戦～中国Dブロック地区決戦」へ出場しました。

■ボランティア部

- ・活動場所：いとうさん家(ち)
- ・活動内容：人とのつながりを深めることを目的に、広島市安佐南区の集会所「いとうさん家」で月1回、地域の子どもたちを集め、創作活動や料理などのイベントを実施。子どもたちの意見を聞き、より楽しめるよう考えながら企画しています。

■ババママ応援団 ぶんこ

- ・活動場所：広島文教大学内、すずらんひろば高陽ほか
- ・活動内容：4歳未満の子どもとその保護者を対象にオープンスペース「ぶんこ広場」を月1回開設し、子育て支援を行っています。季節に合った創作活動や絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行っています。学外での活動もあります。

■Animal Happy Project(アニハピ)

- ・活動場所：広島市動物管理センターほか
- ・活動内容：動物管理センターで保護されている犬や猫などの動物のお世話をしたり、動物の現状を伝えるためのイベントや勉強会に参加しています。活動を通じて命の重みを実感し、その大切さを学ぶことができます。